

大阪市立 波除小学校

所在地 〒552-0001 港区波除3丁目6番8号
TEL 06-6583-4000
FAX 06-6583-0142
校長名 石井 力 (いしい つとむ)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は、昭和27年9月に開校し、今年で創立73年を迎えます。校区は、中央大通で「波除」と「市岡元町」に分かれ、いずれの地域も東側(西区と接するところ)に工場が立ち並び、弁天町駅という交通の要所に立地のもと大半が住宅地域である活気のある地域です。港区では一番の大規模校であり、近年は全校児童数が500人前後で推移しており、全学年で16学級となっています。

本校では、学校教育目標に「人間性豊かな子どもを育てる」、めざす子ども像に「考える子」「仲のよい子」「や

りぬく子」を掲げ、校歌に謳われる「創るよこび生命のあかし 伸びよ世界のはてまでも 強い個性の波除校」のとおり、創立以来、人間味あふれる温かな教育を大切にしつつ、未来社会をたくましく生きる子どもたちの育成に、保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員が心を寄せ合って教育を進めています。また、一昨年度から2年間かけて、西側校舎の長寿命化工事を行い、教室等のリフォームが完成しました。子どもたちが日々生き生きと活動するために、教育環境の充実に取り組んでいるところです。



大阪・関西万博出張チームによる出前講座



メルボルン市の小学校とのオンライン交流



オーストラリア大使館による万博の学習会

令和7年度、波除小学校は万博国際交流プログラムの指定を大阪市教育委員会より受けています。オーストラリア大使館による出前授業や、姉妹都市であるメルボルン市のSouth Geelong(サウス・ジーロング)小学校との交流をしています。大阪・関西万博の開催を機に、オーストラリアとの交流を深めていき、様々な体験を通して、子どもたちの健やかな成長につなげていきます。

また、今年度は終戦80年の年にあたることから、国際交流を進めるとともに、平和教育にも力を入れています。また、港区で一番児童数が多いことから、学級や学年を超えて異学年の児童がふれあい、つながる活動を通して豊かな人間性を育てています。日々の教育活動の様子については、学校のホームページで紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(R6 41.7%)
(小学校学力経年調査における)
- 「学校へ行くのは楽しいと思いませんか」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。(R6 80.7%)
- 「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(R6 86.6%)
- 「自分には、よいところがあると思いませんか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。(R6 80.9%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- (小学校学力経年調査における)
- 「学級の友達とて話しかう活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も

- 肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。(R6 39.4%)
- 「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R6 68.7%)
- 「社会の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を69%以上にする。(R6 68.7%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く] (R6 32.8%)
- 「はぐくみネット」や学校協議会の仕組みを生かして、学校の美化や登下校の見守り、学習支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を推進する。

●令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)	
国語	算数
66	65

令和6年度の全国学力・学習状況調査においては、国語の平均正答率は、全国と比べて1.7ポイント

児童質問紙においては、「自分には良いところがあると思いますか」の質問に対して肯定的に回答する割合が、全国と比べて9ポイント上回っている。大阪市と比べて3ポイント上回っていた。

下回り、大阪市の平均と同じであった。また、算数の平均正答率は、全国と比べて1.6ポイント、大阪市と比べて3ポイント上回った。

授業時間以外の読書については、「全くしない」と「10分より少ない」の割合の合計が43%と大阪市平均を7%下回っていた。一方で10分～30分の児童の割合は、6ポイント高くなっている。読書の取り組みを進めてきた成果が表れているといえる。

令和7年度より、研究教科を社会に変更し、主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくりに取り組んでいる。

●令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	16.70	18.60	30.70	36.40	39.10	9.77	137.70	20.60	49.80
女子	15.90	20.10	35.30	35.00	32.20	9.86	131.30	13.50	51.50

令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、男子は、握力以外の項目では全国平均を下回った。特に立ち幅とびでは13cm下回った。女子は、握力・上体起こし・ソフトボール投げで全国平均を上回った。

テレビやスマートフォンを見る時間が全国平均に比べて多い傾向にある。

質問紙調査では、女子のスポーツクラブに入っている割合が全国平均に比べて高い割合になっている。一方で、

休み時間は運動場の使用が学年交代制なので、時間が限られているが、外遊びの時間を充実させたり、縦割り活動でのドッジビー交流会など、運動の機会や運動時間の確保に努めている。

20分休憩と昼休みは図書館開放を行っています。
また、本や新聞を手取りやすい環境づくりに努めています。



地域やPTAの方が登下校の安全を見守ってください。
また、ゲストティーチャーとしても学校にお越しいただいています。

